



地域学校協働活動と キャリア教育の広報紙

てなむ

回覧

- ◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター 【小林市社会教育課】 Tel.22-7912
- ◆ 小林市キャリア教育支援センター 【小林商工会議所】 Tel.23-4121

東日本大震災や能登半島地震で、小学生が避難生活に役立つ新聞を作ったり、中学生が避難所の運営を手伝ったという話を聞きました。活動内容によっては、子どもたちも十分、支援の輪に加わり、力を発揮できるでしょう。

8月8日、野尻中の3年生が避難所運営訓練を行いました。内容は…(数字は写真の番号)

- ◆ 防災講話「避難所で中学生ができること」
- ◆ ロープワーク(生活に役立つ結び方)①
- ◆ 新聞紙のスリッパづくり② ◆放水体験③
- ◆ ドローン操作体験 ◆ 段ボール寝床づくり④
- ◆ 無水カレー作り など

当日の夕方、日向灘を震源とする大きな地震が起きました。防災の話聞き訓練を見学していただけたら、災害への備えの大切さを改めて考えさせられました。

今後、学校が避難所となり、子どもたちが何らかの役割を担うこともあるでしょう。南海トラフ巨大地震への注意喚起がなされている今、学校と地域が連携して対策を講じておくことが望まれます。



【協力】市役所危機管理課・野尻地区消防団・社会福祉協議会・SVC(災害ボランティアコーディネートセンター)・西諸県広域消防・3年生保護者・PTA 役員 等

紙屋中 平和学習「朗読劇」



実際の出撃の写真



帽子を振っているのがお父さん

【あらすじ】遺書が届き、息子の最後の様子が知りたいと、父親は知覧基地に向かいます。しかし、死んだと思っていた息子は、機体の故障で引き返し、明日改めて出撃することになっていました。父子は最後の夜を語り合って過ごします。翌日、息子は軍刀を父に遺して出撃。戦死しました。

終戦後、武器の供出を免れるため、父親は遺品の軍刀を真っ二つに折ります。武器ではなくなった形見の軍刀は、今も、実家で大切に保管されています。

延岡出身の特攻隊員、黒木少尉の実話を基にした朗読劇「蒼天の向こうへ」です。演じたのはサラみやざき(声優・俳優スクール)の皆さん3名。迫力いっぱい演じられる朗読劇を、生徒たちは最後まで真剣な表情で鑑賞していました。

【劇団員】戦争はどうして起きたのか、なぜしなければならなかったのか、興味をもってください。

【生徒代表】当時の人々の思いを想像していました。戦争について考えることは今後繋がると思います。

幸ヶ丘小 木工教室

【協力】西諸地区
森林組合



放課後子ども教室の活動です。全校児童が参加しました。クイズを交えた木材についての話を聞いた後、森林組合が準備した材料を使い、真ん中の仕切りがスライドする本立てを作りました。

子どもたちは家族に手伝ってもらいながら、上手にくぎを打ち、組み立てていました。夏休みの木工教室は、椅子やポストなど、毎年作品を変えながら10年以上続いています。

須木中 暮らしの困りごと助け隊



社会福祉協議会須木支所と学校が連携し、夏休みと冬休みに実施しています。この日は、ふるさとセンターで生徒22名とサポーター8名が

裏に続きます



顔を合わせた後、4班に分かれて地域の住宅を訪問。暑い中、1時間ほど庭掃除やガラス拭きなどを行いました。その後、ふるさとセンターで修了証明書をもらい、全員が感想を発表して活動を振り返りました。

【協力】ボランティア連絡協議会
民生児童委員・友愛クラブ



水質・水中生物調査(霧島・小林探検隊)



場所はかくれ念仏洞近くの永久井野川。市内の小学生18名(7校)、中学生4名(2校)が参加しました。

最初に目を閉じて自然の音を聞き、周囲の自然と人工物を観察しました。水質と透明度を調べた後は生物の調査。網やバケツを手し、魚や昆虫を採取して名前や生態を調べました。子どもたちは冷たい流れの中で、暑さを忘れて熱心に活動していました。

【協力】小林市生活環境課・小林保健所
小林市子ども会育成連絡協議会



「霧島・小林探検隊」は社会教育課が行っており、学校を通じて隊員を募集しています。7月には熊本県御船町の恐竜博物館を見学しました。

職員研修(史跡めぐり)



【説明】井上さん(社会教育課)
【見学】二原遺跡公園・仲間の田の神・新田場の田の神



夏休み中の1日、新規採用と9~11年目の先生11名が小林の文化財について学びました。



仲間の田の神

中央公民館での井上さんによる講話「文化財を活用した学習」の後、バスで二原遺跡へ。初めて訪れた先生も多く、興味深く説明を聞き、見学していました。

市内には50近くの指定文化財があり、多くの学校が史跡や郷土芸能を授業に取り入れています。

しかし、ここ数年、さまざまな事情で行われなくなった活動もあります。今後、子どもたちに地域の魅力を伝えるためにも、文化財がより身近になる取組が増えてほしいと願っています。

細野小 そばの種まき

4年生



細野地区営農組合(瀬戸山会長)とJAこばやしの協力で、細野保育園横の畑で、園児も参加して行われました。

子どもたちは地域の方に教えてもらいながら、手の甲を下に向け、種が指の間からこぼれ落ちるようにまき、15分ほどで終わりました。

そばは非常に生長が早く、2~5日で発芽します。細野小では10月中旬に花の観察会(スケッチ大会)を行い、11月20日頃に収穫の予定です。

【瀬戸山会長】スケッチ大会では賞状も準備します。

いい絵を描いてください。

【児童あいさつ】初めてだったので、楽しかったし、うれしかったです。ありがとうございました。

こばやし未来創造塾「起業家サミット」



小中高校生が約30名、大人も10数名が参加して、夏休み中の「学びの1週間」の中で行われました。

最初は、鹿児島県始良市の廃校を再生して私立小学校を作るプロジェクトに中心的なメンバーとして携わっている高校1年の女子生徒の報告。地域おこしへの熱意と行動力に驚かされました。

その後、ひなもり銘木の丸野さんを始め3名の起業家がそれぞれの会社について紹介。起業に至った経緯や事業内容についてお話していただきました。話を聞いている子どもたちの真剣な表情から、「本当に聞きたい話を聞いている」という印象を受けました。

今回のサミットには、子どもたちが高い志や意欲、創造力を持ち、自立した人間として育ってほしいという願いが込められています。



地域学校協働活動と キャリア教育の広報紙

てなむ

回覧

- ◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター 【小林市社会教育課】 Tel.22-7912
- ◆ 小林市キャリア教育支援センター 【小林商工会議所】 Tel.23-4121

到三書読

「おうちの人とまた来てく
ださいね。(田鍋館長)」



細野小の2年生が市立図書館を見学。質問の時間に飾ってある額の文字について尋ねた児童がいました。

説明では、右から「どくしょさんとう」と読み、本は「目でよく

見て、口で朗読し、心を集中すると理解が深まる」という意味だそうです。

2クラスが交替で館内を見て回り、一人が3冊借りました。「読書離れ」の声も聞きますが、目を輝かせて本を選んでいる子どもたちからは、そんな雰囲気は感じられません。大人になるにつれて、本よりもネットに接する時間が長くなるのでしょうか。



【感想より】 ◆ 探していた本を教えてくださいありがとうございました。 ◆ 恐竜シリーズの中で読んでない本を借りられて良かったです。 ◆ 好きな本が見つかってうれしかったです。 ◆ バレーボールの本を探してくれてありがとうございました。

野尻小 国際交流の授業

4年生



「さくらさくら」をトーンチャイムと合唱で披露。校歌も紹介しました。



野尻小では、国際交流支援の会の協力で、ネパールの学校との交流を続けています。7月には2つの小学校とオンラインで交流。ネパールについて調べたことを英語で発表したり歌や合奏を披露したりしました。

ネパールの学校からは英語での自己紹介や伝統的な踊りの紹介もあり、野尻小の子どもたちは珍しい映像に興味津々。時には歓声を上げながら熱心に観ていました。市内の小学校では、国際交流員による国際理解の授業もあり、外国の生活や文化に触れると同時に、日本を見つめ直すきっかけにもなっています。

進行は野田さん

西小林小「鎌之手踊り」の練習

3年生



東さん



明治2年(1869年)、鹿児島から西小林に移住した人々が、数少ない娯楽の一つとして、苦しい開拓の合間に鎌之手踊りを踊り継いできました。100周年記念式典でも踊られ、数年前までは、地区の

敬老会などで子どもたちが踊ることもありましたが、今は途絶えています。

11月10日(日)の創立150周年記念式典での復活をめざして、3年生が練習を重ねています。

講師は50年前の式典でも踊った東成也さん。「えびの市の岡元や他の地域にも『鎌踊り』の名前で伝わっています」など、踊りの由来についてお話してくださいました。その後、8名の児童が昔の映像を見ながら踊ってみました。

「50年前に踊ったメンバーで残っているのは私だけです」と東さん。継承の難しさを感じながらも、これから練習に取り組む3年生に大きな期待を寄せていました。

小林小 兵児踊の練習

4年生



兵児とは、鹿児島地方で青年男子のこと。

天正年間(1573年～92年)、島津・伊東の争いで、島津氏が薩摩武士の士気を鼓舞するために踊らせたのが起源と伝えら

れています。また、兵児踊を通して日頃の土風の鍛錬に励んだとも言われています。

毎年、運動会で4年生が披露しています。指導は真方一区兵児踊保存会の皆さん。この日が2回目の練習で、模範演技を参考に繰り返し練習しました。徐々に、全員の動きが揃うようになり、保存会の鶴戸会長からも「ずいぶん上手になりました。運動会でもっと上手に踊れるよう、頑張ってください」と、励ましの言葉をいただきました。



永久津中 手話講座

3年生



【講師】真方さん(左)と岡元さん
手話サークル「木の实会」



主な内容は、聞こえない人の生活・伝える方法・簡単な手話・指文字・自己紹介。

授業は実践的な内容が中心で、説明の後に個人やペアでの練習時間を長く取っていました。繰り返し練習したおかげで、自己紹介も全員が上手にでき、「身に付いている」と感じました。

東方小 ふれあい交流

2年生

こすもす支援学校2年生との交流会。進行は東方小児童



定期的に行っている学年ごとの交流会です。20分間、自己紹介やふれあい遊び、歌を一緒に楽しみました。教室は、両校の子どもたちの元気な声と笑顔でいっぱい。体全体で楽しさを表現していました。感想の時間には「楽しかったです」「また一緒に遊びたいです」などの声がたくさん聞かれました。

南小まつり

毎年実施している体験活動



しおりづくり



味噌づくり



盆景



洋裁(トートバック)

多くの事業所・団体・地域住民の協力を得て、全校児童が12種類の活動に分かれて参加。子どもたちは3時間ほどの間、それぞれの作品と真剣に向き合っていました。

写真で紹介した他にも…

- ◆ 昔の遊び(めんこ・けんだま・こままわし・おりがみ)
- ◆ エコバックづくり(STOP!おんだんかるた)
- ◆ お茶体験(お茶の種類当て・おいしいいれ方)
- ◆ フラワーアレンジメント ◆ 和裁(コースターづくり)
- ◆ 竹細工(たけとんぼ) ◆ 陶芸 ◆ 表装(化粧箱)

南小まつりは、大人との交流を通してさまざまなことが学べる貴重な機会です。また、活動には技能士による県の事業(ものづくり)や市の事業(食育)もあり、技能や食への関心を高めてほしいという願いも込められています。

細野中 生涯学び続けるための学習



「なぜ学ぶのか」に続く2回目の授業です。オンラインで各教室をつないで行いました。

授業の流れは…

- ① 予測困難な時代に必要な能力について話し合い、学級ごとに発表しました。
- ② 「2007年生まれば107歳まで生きる確率が50%」という情報を受け、学ぶことの意味を考えました。
- ③ 80歳で宮崎東高校通信制課程を卒業した女性を紹介したテレビ番組を視聴し、感想をまとめました。
- ④ 全校生徒が10グループに分かれ、感想を共有しました。

【3年生の感想より】◆ 学ぶことは何歳からでもいいのだなと思った。◆ 今、学べることは当たり前じゃないんだと思いました。学ぶことの大切さや大変さについて、改めて深く考えることができました。

◆ 何歳になっても、学ぼうとする意欲があれば勉強を続けてもいいことが分かりました。◆ 77歳で高校に入学するのは、勇気があることだと思った。◆ 分かるまで質問しているのがすごいと思った。

永久津小 陽光の里訪問

3年生 7名
4年生 11名



福祉についての学習です。輪投げなどの手作りの遊び道具に加え、カルタやオセロ、折り紙などを準備して訪問。5つのグループに分かれ、デイサービスの利用者さんたちと、約1時間、楽しく交流しました。

子どもたちにとって、親や先生以外の大人との交流は社会性を育てる貴重な機会です。高齢者も、さまざまな刺激で脳が活性化し、子どもたちから元気をもらいます。

【児童あいさつ】勉強のお手伝いをしてくれてありがとうございました。これからも元気で過ごしてください。

てなむ

地域学校協働活動と
キャリア教育の広報紙



◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター 【小林市社会教育課】 Tel.22-7912
◆ 小林市キャリア教育支援センター 【小林商工会議所】 Tel.23-4121

毎年4月に「全国学力・学習状況調査」が小学6年生と中学3年生を対象に行われています。その中には、学習意欲や学習方法、学習環境などを問う質問調査があります。

◇ 学校に行くのは楽しい。◇ 将来の夢や目標をもっている。◇ 地域社会や世の中の出来事に関心がある。◇ 人の役に立つ人間になりたい。

小中共に57ある質問には、上に示したような、学習の動機に繋がる項目もあります。これらの質問に「そう思う」と答える子どもと「思わない」と答える子どもとでは学習への意欲も異なることでしょう。それでは、子どもたちの学習意欲を高めるにはどうすればいいのでしょうか？その一つが、身近にいる大人の存在です。

地域学校協働活動を始め、外部人材による授業や講演会など、学校には大人と出会うさまざまな機会があります。人の為にくしたり何かに挑戦したりしている大人の姿は子どもたちに大きな影響を与えることでしょう。それは「有名人」だけの話ではありません。子どもたちの周りに魅力的な大人が増えることが、子どもを変え、地域を変えられる力になると思います。「お母さんが漢字検定をがんばっているの、私も漢字が好きになりました」という小学生の話の話を聞きました。

野尻小 いもほり

1・2年生



5月に植えた「べにはるか」の収穫を、10月下旬に学校横の畑で行いました。協力は東麓地区営農組合とJAこばやし、保護者の皆さん。子どもたちは大きないもを見つける度に歓声を上げ、楽しく活動していました。作業の合間には大人との会話も弾み、異世代交流の貴重な機会にもなりました。収穫したいもは家庭へのお土産に持って帰りました。

さつまいもの苗植えと収穫は「食育」を目的として毎年行われています。大塚原認定こども園と野尻保育園の子どもたちも参加しました。

東方小 いもほり

2年生



2年生は体育館横の「2年生活科農園」で野菜を育てています。ナスやピーマン、ミニトマトの時期が終わり、10月にさつまいもを収穫しました。子どもたちは一生懸命穴を掘り、大きないもを見つけては大喜び。小さな畑ですので短時間で作業は終わり。それでも一輪車で2台分の収穫がありました。掘りたいもは焼きいもにするそうです。

細野小 稲刈り

5年生



学校から歩いて10分ほどの田んぼです。協力はJAこばやしと細野まちづくり協議会の皆さん。刈取りに加えて、交替で足踏み式脱穀機の体験もしました。これは、逆V字型の針金を埋め込んだ筒が回転して籾を落とす道具です。同時に、コンバインでの刈取りと脱穀の実演、内部の仕組の説明もあり、子どもたちは新旧の農作業を目で見て確認していました。

収穫の時期になると、いくつかの学校でいもほりや稲刈りが行われます。そこでは、同じ活動でも学校独自の工夫や地域との連携など、さまざまな特色があり、興味深く見学させてもらっています。

幸ヶ丘小 幸っこフェスタ



前半は、生駒たたみ店の大岩根さんに教えてもらい、小物を置く敷物にもなる「ミニ畳」を家族や先生方と一緒に作りました。針を使う難しい作業は大人に手伝ってもらい、全校児童が立派な作品を完成させました。(上の写真)

後半は、子どもと大人のグループに分かれての話合い活動。地域の皆さんと吉藤議長を始め市議会議員4名も加わり、幸ヶ丘の今後について話し合いました。テーマは「子どもたちのよりよい未来のために、自分は何ができるか」。幸ヶ丘や生駒高原の活性化のためのアイデアがたくさん生まれ、子どもたちは生駒高原を巡るスタンプラリーについて発表しました。



小林中 文化発表会(総合発表)



今年度は、弁論や総合の発表、合唱コンクールを、各学年1時間ほどにまとめて午前中に実施しました(午後は新体操と吹奏楽)。保護者も都合をつけやすかったのでしょうか、平日にもかかわらず多くの参観者が訪れていました。

「総合的な学習の時間」の発表より

【1年】農業体験学習。受入れ先の農家での体験を「農家さんおすすめのマッチの持ち方」などのクイズも交えて発表しました。

【2年】修学旅行で訪れた京都の人や風景、名物等を参考に、小林の活性化計画をまとめました。

【3年】3年生が企画した「KOBAFEST」(10月31日)のPRを兼ね、小林の活性化を目指すプロジェクトを紹介。小林の魅力再発見・新しいキャラクター・イメージソングなどについて説明しました。

各学年共通していたのは、食や自然の豊かさ、人々の温かさなど「小林の魅力」を伝えていたことです。2・3年生は、学級とプロジェクトごとに短い劇を取り入れた分かりやすい説明でしたし、空き家対策や観光地の整備、新商品の開発など、いろいろな提案をしていました。

活性化のアイデアが多くの人々の目に留まり、少しでも形になるといいですね。

東方中 パラスポーツ交流



東方中生とこすもす支援学校中学部の生徒がチームを組み、ボッチャとフライングディスクで交流を深めました。昨年に引き続いての開催です。同じ敷地内に学校があり、普段から顔を合わせる機会も多いことから、ごく自然に、協力しながら競技を楽しんでいました。

終わりの会では、支援学校の森永校長先生から「いろいろな人と関わり、お互いのことを考え、一緒に楽しむ…。こんなことを、これからは生活の中で学んでください」との講評がありました。

三松中 岩戸神楽

2年生



毎年、2年生全員が舞や演奏、裏方で一役を担い、岩戸神楽保存会(田原会長)の指導で練習を重ね、文化発表会で発表しています。当日は、神楽の起源と継承活動、生徒の役割分担の紹介の後、天岩戸開きと剣の舞、薙刀の舞などを披露しました。会場では、岩戸神楽の学習をしている三松小の4年生も熱心に鑑賞していました。

その後、1年生が農業体験学習、3年生が小林市未来予想図について発表しました。

みんなでやってみよう

西小林中 3年生
西小林小・幸ヶ丘小
1年生



毎年行っている3校の交流会です。中学3年生がいろいろなゲームと賞品を準備して迎え、1年生はグループでひとつずつ回って中学生と一緒に楽しみました。

終わった時の1年生の手には、ゲームでもらった手作りのお土産がたくさん。一列になって見送る中学生に手を振って、笑顔で帰っていきました。

細野中 演劇教室

劇団 民話芸術座



民話芸術座は東京都中野区に本部を置く1976年創立の劇団。小・中・高校での公演を中心に活動しています。公演前、5人の生徒が心と体の緊張をほぐす体操と腹式呼吸の発声を習い、朗読劇「銀河鉄道の夜」の一部を演じました。

【生徒の感想より】◆ 緊張したけど楽しかったです。◆ 緊張しましたが、練習通りできて良かったです。

野尻中 薬物乱用防止教室



【講師】小川智子さん(管理薬剤師:坂尾薬局)野尻小・中出身

若者の薬物乱用が増えている現状や危険性についてDVDと講話を通して理解を深めました。「約75%が大麻の危険性を認識していませんでした」との小川さんの言葉に生徒たちはびっくり。身体機能や脳への影響、依存症、脱法ドラッグによる事件や事故、オーバードーズ(医薬品の過剰摂取)の危険性、エナジードリンクやカフェイン、自分を守る方法などについてお話を聞きました。

南小 モーモースクール

4年生



肩ロースとモモの見た目や味をくらべました。

JA宮崎経済連・JAこばやし・生産者による宮崎牛の授業です。DVDと説明、質問コーナーを通して、宮崎牛の出産から出荷・販売までを学ぶとともに、生産者の仕事についてのお話を聞きました。

【お話より】◆ 宮崎牛とは 宮崎で生まれ育ち、肉質の4等級以上を宮崎牛、3等級以下は和牛と呼びます。

◆ 育てた牛が肉になるのは悲しいですが、「命をいただく大切な仕事」だと思い、がんばっています。「良い牛ですね」と言われると嬉しいです。◆ 6時と午後3時に牛舎でえさをやり、午後6時に仕事を終えます。◆ 宮崎牛をたくさん食べて応援してください。

永久津中 租税教室

3年生

重い!



濱田真次さん:税理士
(濱田真次税理士事務所)

自己紹介で、「大学卒業後、働きながら資格を取り、今は自分の税理士事務所で働いています」と濱田さん。最初に、税金がなくなった世界を描いたアニメを通して税の役割を考えました。その後、パンフレットを用いて、一般会計当初予算、歳入と歳出、税の使われ方、税の特徴などについて詳しく学習し、最後に1億円(約10Kg)の重さを体感しました。

【濱田さんより】大人になるにつれて払う税金も増えます。その使われ方を知る大人になってほしいと思います。

西小林小 土木の日出前授業

5年生



ユンボで魚釣り

測量

「土木」は「十・一・十・八」に分解できるので、11月18日は「土木の日」です。上の写真に加え、剪定・ドローンの操縦・コンクリート塗りなど、7つの仕事を体験しました。子どもたちが楽しく熱心に活動している姿を見て、仕事や働くことへの関心を高めるきっかけになればと思いました。

※ 県の事業です。小林土木事務所・建設業協会・造園組合等の協力で実施しました。

須木小 社会科見学「郷土をひらく」

3・4年生



説明は小林ガイドボランティア協会の皆さん



全長 31.5m 幅 3m
高さ 14m

用水路の学習です。野尻庁舎で記念碑についてのお話を聞いた後、東方大丸太鼓橋を見学。須木のふるさとセンター近くにある「児

玉源七郎水路開発記念碑」も見学しました。

子どもたちは、先人達の努力で今の生活があることを、熱心にメモを取りながら学んでいました。

◆ 昭和の初期、水がないために米が作れなかった野尻は貧しい農村でした。田丸貞重は野尻原用水路を、信時金之助は漆野原用水路(紙屋)を、私財を投じ、住民と協力して完成させました。

◆ 東方大丸太鼓橋は、薩摩の豪商、森山新蔵が私財を投じて完成させた県内最古の水路橋(県の有形文化財)

細野小 鑑賞教室「ちいさな 秋のおはなし会」



劇「しりとり
のだいすきな
おうさま」

大型パネル

出演は読み聞かせサークル「ママーズ」と保護者の皆さん。読み聞かせの他に、国語の教科書に載っている作品名を当てるクイズやピアノ演奏もあり、子どもたちの笑顔が絶えない1時間でした。

永久津小 保育士体験

5年生



こすもす科「わたしは保育士・私の夢」。保育士の体験を通して、自分の将来について考える授業です。10名の5年生が3つのグループに分かれ、事前に考えた内容に沿って、約2時間、園児たちと楽しく過ごしました。ドッジボールや縄跳び、鬼ごっこ、新聞紙を使った遊びなど、どのグループでも子どもたちの元気な声が響いていました。



地域学校協働活動と
キャリア教育の広報紙

てなむ

回覧

- ◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター
- ◆ 小林市キャリア教育支援センター

【小林市社会教育課】Tel.22-7912
【小林商工会議所】Tel.23-4121

2月3日は立春。暦の上では春の始まりです。寒い日はまだまだ続きますが、春の訪れが感じられ、少しうれしくなります。

さて、「南極では風邪をひかない」と言われます。理由は… 風邪の原因となるウイルスは、人の体を媒介して活動するので、人が少ない南極では感染する機会が少ないからだそうです。逆にいえば、人が行き交う学校や地域社会は風邪をひきやすい環境にあります。手洗いやマスクの着用など、感染に気を付けてお過ごしください。

地域の皆さんとしめ縄づくり

1月号で紹介したしめ縄を作った子どもたちと、教えていただいた地域の皆さんです。



【須木中】協力は友愛クラブ



【紙屋中1年生】協力は紙屋校区社会福祉協議会

栗須小 みかん山スマイルフェスタ



前半は保護者も参加しての餅つき大会。全校児童が収穫したもち米を使いました。つきたてのお餅に加え、地域の皆さんが炊き出し訓練で作った芋煮もふるまわれ、みんなでおいしくいただきました。5年生は「栗須っ子米」の販売も行い、地域の方もたくさん訪れ、買い求めていました。



午後は毎年行われている地域の防災訓練。学校も含めて栗須地区のさまざまな団体が参加しました。防災のポイントが住民同士の連携だと言われます。子どもたちを含め、地域の人々が顔なじみになるこのような行事は、今後ますます必要になってくることでしょう。

野尻中 餅つき

3年生



郷土の伝統行事を学ぶ家庭科の授業。もち米は地域住民が提供し、PTA学年部の協力で実施しました。数年前まで行っていたようで、学校には蒸し器もあることから、今年度復活したそうです。

学校支援ボランティアと聞くと地域住民を思い浮かべますが、キャリア教育の一環として、自分の経験や仕事についての話を保護者にしていただいている学校もあります。保護者との連携にもいろいろな形があります。

おはなし会

紙屋小「クリスマスおはなし会」



- ◆ 2年生の合唱とハンドベル演奏
- ◆ 先生二人によるピアノ演奏
- ◆ 絵本「まどからおくりもの」
- ◆ ペープサート「十二支のはじまり」
- ◆ マジック
- ◆ 劇「かじぞう」
- ◆ 合唱「赤鼻のトナカイ」

三松小「冬のおはなし会」



- ◆ 絵本「あのね、サンタの国ではね」
- ◆ ペープサート「ふたりのあさごはん」
- ◆ 読み聞かせ「困ったサンタの実例集」
- ◆ 劇「桃太郎」
- ◆ 合唱「赤鼻のトナカイ」

30分ほどのおはなし会。紙屋小は鑑賞教室で、三松小は昼休みに自由参加で行われました。両校の出演者は異なりますが、どちらもわたぐも絵本の会(三松小の保護者と保護者OBのサークル)によるものです。三松小では10年近く続いており、紙屋小では、二人の先生が三松小の保護者で読み聞かせ活動にも参加している縁で、昨年からは実施しているとのことでした。

どちらの体育館も熱気でいっぱいの大盛り上がり。子どもたちの笑顔と歓声に、サークルの方々も熱演で応えていました。朝の読み聞かせの他にも、卒業前の6年生を対象としたものなど、いろいろなおはなし会が、主に小学校で開かれています。

小林中 技術科 ～VR 体験～

2年生



登嶋健太(としまけんた)先生:東京大学先端科学技術研究センター

テーマは「VR(仮想現実)を活用した最先端の福祉の可能性」。VR体験に加え、その仕組みや福祉への活用事例も学びました。いろいろなアプリの体験もあり、物をつかんだり卓球をしたりする映像に、生徒たちは歓声を上げて見入っていました。

登嶋先生は、介護施設で職員として勤務する傍ら、要介護者へのVR回想旅行の提供や、高齢者の福祉を拡張するXR(クロスリアリティ:現実世界と仮想世界を融合させる技術の総称)の研究を行っています。

南小 保育士体験

5年生



すべり台

オニをしたい人?

保育士の仕事を通して自分の将来について考えるこすもす科の学習です。子どもたちはグループで準備した遊び道具を持って南保育園と小林乳児保育園を訪問し、ゲームや外遊びで園児たちと楽しく過ごしました。「もぐらたたき」(左の写真)では、かわいいモグラが箱から顔を出す度に笑い声が起きていました。

野尻小 親子で学ぶ防災教室

5・6年生



町元博文さん
NPO法人
宮崎防災士
ネットワーク

給水バッグ

学校保健委員会の取組です。講師の町元さんは元兵庫県警の警察官。阪神・淡路大震災で自らも被災した体験もお話してくださいました。また、マグニチュードが0.2大きくなるとエネルギーは2倍、1大きくなると32倍になるなど、基本的な地震の話や非常用トイレの作り方と凝固剤の実演もあり、災害への対応に役立つ情報が満載の教室でした。

【主な内容】①地震が起きるしくみ ②地震の規模と揺れ ③阪神・淡路大震災、能登半島地震、熊本地震の被害状況 ④直下型の大きな地震 ⑤大きな地震への対応 ⑥(児童への問いかけ)今、大きな地震が起きたらどう行動しますか? ⑦地震で家の中に閉じ込められたら ⑧台風が来るときの注意 ⑨道に水があふれた時の避難行動 ⑩非常用トイレについて

西小林中 駅伝ロードレース大会



総合運動公園での大会に、小林高校の男女駅伝部30名が参加。ウォーミングアップの仕方を指導したり、中学生の伴走をしたりして、大会を盛り上げてくれました。

駅伝のスタート前には、6チームが、肩を組んだり大きな声を出したりして気持ちを一つにしていました。



細野小 そばの収穫

4年生



「めぐり棒」でたいて実を落とします。

唐箕(とうみ): ハンドルを回し、風で葉やちりなどを吹き飛ばして実を選別します。

9月上旬にまいたそばを、今年の11月下旬に収穫しました。鎌で刈り取った後、昔のやり方を教えてもらいながら収穫しました。10月にはそばの花のスケッチ大会もしています。そばの栽培は細野地区営農組合とJAこばやしの皆さんの協力で、毎年行われています。

細野中 13歳のハローワーク

1年生



1年生のこすもす科。講師はキャリア教育支援センターが依頼した様々な職種の皆さん5名。最初に自己紹介を兼ねた仕事の紹介、その後、クロストーク(出席者同士や生徒とのやりとり)を通して、働くことについての学習を深めました。質問への答より…

- ◆ 仕事から逃げ出したい時は、「30年後には『面白かったよ』と言えるようになる」と思うと楽になります。
- ◆ 身体が健康だとメンタルも強くなります。
- ◆ 「つらい・忙しい・大変」という言葉をできるだけ使わないようにしています。
- ◆ 仕事の内容よりも人とのつながりが大変な時もあります。
- ◆ 100人の中で1人からでもほめられたらうれしいです。
- ◆ (一緒に仕事をしたいのは?) ポジティブな答えを返してくれる人。頼んだこと以上のことをやってくれる人。誠実な人。当たり前前の方が当たり前前の人。
- ◆ (今のうちに13歳がやっておくといいいのは?) ◆ 海外のニュースなど、情報をたくさん得ておくこと。性格上苦手な人と仲良くなれるよう挑戦してみる。話せる英語。
- ◆ 仕事上必要なのは、あいさつ・返事・時間を守ることです。



地域学校協働活動と キャリア教育の広報紙

てなむ

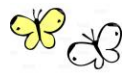
回覧

◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター
◆ 小林市キャリア教育支援センター

【小林市社会教育課】Tel.22-7912
【小林商工会議所】Tel.23-4121

昼夜の寒暖の差はありますが、日中のポカポカな陽気が春を感じさせてくれます。もうすぐ進級、卒業、そして旅立ちの季節。次のステップへ向かう子どもたちと、新たなことに挑戦しようとしているすべての人に、大きなエールを送ります。

さて、小林市の地域学校協働活動は、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指し、毎年、延べ2万5千人以上の方々に協力していただいています。4月以降も、さまざまな活動に取り組む子どもたちと地域の皆さんの生き生きした姿が見られることでしょう。



小・中学校では、活動のお手伝いをしていただくボランティアを募集しています。詳しくは社会教育課か学校へお問い合わせください。

細野中 薬物乱用防止教室

- ① 薬物の種類と危険性
- ② オーバードーズ(薬の過剰摂取)
- ③ 薬物依存・乱用とは
- ④ 薬物乱用に陥らないためには
- ⑤ お酒・たばこの害
- ⑥ DVD(事例でみる薬物乱用)



山元慶子さん(学校薬剤師)

薬物の被害は青少年にも及んでおり、正しい知識を得て薬物から身を守るための授業は、市内すべての中学校で行われています。山元さんは、さまざまな画像を紹介しながら、薬物やお酒、たばこの害についてお話してくださいました。

【お礼の言葉】薬物が脳を溶かしてしまうと聞いて、怖さがわかりました。薬物は絶対に使いません。

給食感謝集会

1月24日からの1週間は、全国学校給食週間。それに合わせて、給食の意義や目的について考え、給食に携わる人たちに感謝する集会が小学校で、毎年開かれています。

須木小

何をするための道具でしょう？

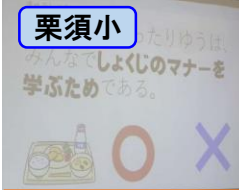


お礼のメッセージ

講師は齊藤先生(栄養教諭：東方学校給食センター)。クイズを交えながら給食センターの仕事や、生産者の思いを紹介してくださいました。

【お礼の言葉】学校に来ると「今日の献立」が目に入り、楽しみです。しっかり食べて元気な体をつくります。

栗須小



【食に関するクイズ】給食委員会が問題とスライドを作りました。

集会は「えいようのうた」の元気な合唱で始まりました。先生が野尻給食センターや生産者、配送に関わる人たちの仕事や思いを紹介した後、給食委員会の5・6年生が〇×クイズを出題しました。この後、児童全員が感謝の手紙を書き、給食に関わっている皆さんに届けます。クイズの一部、すべて〇です。

- ① 給食が始まったのは、家がまずしくて弁当をもってこれない子どもたちがたくさんいたから。
- ② カルシウム不足にならないよう、学校の給食に牛乳をつけることが学校給食法で決まっている。
- ③ 昔、ごはんはパンより高かったのので、給食の主食がパンばかりだったことがある。

細野小 餅つき

「おいしくなれ、おいしくなれ」と言いながら丸めてよ!

5年生



おいしいです!

田植えと稲刈りをした5年生の餅つきです。2つのグループで、餅つきと丸める作業を交替で行いました。餅つきは初めての子どもたちが多かったものの、保護者と細野まちづくり協議会の皆さんに教えてもらい、上手にできました。

西小林小 保育士体験

5年生



こすもす科「わたしは保育士・私の夢」



箱の中身当て



射的

保育士の体験を通して自分の将来について考える授業です。31名の5年生が遊び道具やプレゼントを準備して、西小林保育園を訪問しました。

園児たちは、ボウリングや魚釣り、射的など6種類のゲームを、大喜びで体験していました。

【お礼の言葉】声かけをするのが難しかったけど、保育士の仕事のことがよくわかりました。

紙屋小 もくもく体験



教室から体育館へ避難した後、火事や地震、水害などの話を聞きました。講師は「御池青少年自然の家」の指導員お2人。もくもく体験では、体に害のない煙が充満したテントを四つん這いで通り抜けました。

煙で何も見えない状況を体験して、子どもたちは火事や煙の怖さを改めて感じていました。

御池青少年自然の家では、事業所でも煙体験の出前講座を行っています。



小林小 キャリア教育交流会

5年生



若松さん(中央消防署)

職業を通して自分の未来を考えるこすもす科の授業です。5職種6名の皆さんに来ていただきました。子どもたちは15分ずつ4つのブースを回り、仕事の内容について聞き、質問をしていました。

中学1年生では、社会人の話を聞く「13歳のハローワーク」という授業があります。

写真以外の講師は…



坂元さん(金型製造:株 MEISEI)

- 【保育士】井手さん(中央保育所) 外菌さん(こぼと保育園)
- 【畜産業】大平落さん(前沢畜産)
- 【助産師・保健師】黒木さん(小林市役所こども課)

読み聞かせ

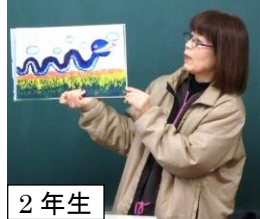
東方中



坂下実千代さん(小林市小・中学校「読みきかせ」連絡協議会会長)

東方中では、読み手を囲むようにして全校生徒が座ります。時には、保護者がお自分の仕事について語ってくださることもあります。今回の読み手は、長年読み聞かせの活動に携わっておられる坂下さん。2つの物語をストーリーテリング(語り)で紹介していただきました。

西小林中



2年生

ゆめいろ文庫の皆さんによる月に1度の読み聞かせです。この日は、3名の方が各学年で読み聞かせをしてくださいました。

小林市はすべての小中学校で読み聞かせを行っている全国的にも珍しい自治体です。小さい頃から物語に触れることで、聞く態度が養われ、中学生になっても真剣な表情で聞いています。東方中も西小林中も、子どもたちは最後まで姿勢を崩さず、熱心に耳を傾けていました。

三松小 手話教室

5年生



小林市では、小学3年生と5年生、中学3年生で手話を学びます。今回の講師は手話サークル「木の実会」の皆さん。3クラスに2人ずつ入り、2時間の授業をしました。前半は聞こえない人の生活・伝える方法・あいさつなどの簡単な手話、後半は指文字と自己紹介。終わりに、子どもたち全員が、手話で名前や好きなものを言えるようになりました。

小学3年生と昔の暮らし

野尻小



かるい(背負いかご)

社会科「市の様子と人々の暮らしのうつりかわり」です。野尻小は「のじりこびあ」にある歴史民俗資料館を見学。昭和初期の民家を再現したコーナーで昔の暮らしについて聞いた後、いろいろな道具を興味津々の様子で体験していました。

細野小



細野小は八幡原市民総合センター内の文化財展示室で、展示してある道具の説明を聞き、体験活動を行いました。両校の児童は、昔の人の知恵や工夫に感心しつつ、熱心に学んでいました。

【見学や体験をした道具】みの・わらじ・下駄・のこぎり・斧・あんどん・背負子(しよいこ)・黒電話・炭火アイロンなど

【協力】小林ガイドボランティア協会・小林市社会教育課